

令和5年9月幹事会議事録

日時 令和5年9月24日(日) 10時00分～13時30分(終了後秋季バザー準備)

場所 東京外国語大学 国際交流会館 1F 交流ホール zoom 会議併用

出席者 谷、阿部、甘利(司会)、井上、小平、佐久間、野口、山崎、山根
大谷、勝又、山田・・・オンラインにて

以上12名(50音順)

- 参考資料 ①- 1 2023年9月幹事会議案 (谷)
- 2 議案資料 補足 (谷)
②- 2023年度JAXA研究施設見学打ち合わせ(案) (山根)
③- 文楽鑑賞実施概要(改定案) (山根)
④- 大相撲観戦打ち合わせ(案) (山根)
⑤- 11月会報(案) (山根)

1. 報告事項

(1) 学内状況

- ・ 来週、新規留学生約220名が入学予定。留学生課に250部の支援の会資料を提出済み。
- ・ 1・2号館に約100名、3号館に110名が入寮予定。
- ・ 日研究生は寮に入らないため、近隣のアパートに居住する見込み。その為、不動産関係の相談があるかもしれない。

(2) 事業報告

1) 2023年度総会 (谷)

- ・ 7月9日(日) 実施
- ・ 参加人数は少ないながら、意義のある議論が出来た。
- ・ 欠席者の委任の仕組みは設けてこなかったが、次回からは参加、意見表明の一形式として位置付け、方式を整えて周知していく。

2) 交流会館3号館ウィークエンドパーティーについて (甘利)

- ・ 甘利幹事が中心になって、5月12日より、毎週金曜日の夜に開催されている。
- ・ 平均参加者は、夏休み前は50～100名、夏休み中は25～40名であった。
- ・ 毎回の出費は7,000～10,000円程度であり、支援の会からの援助、寄付、甘利幹事の私費により賄われている。
- ・ 来年4月からは、学生有志(チューター希望者)に運営を任せる可能性あり。

3) 前期末交流会館退寮期フリマ (甘利)

- ・ 留学生が帰国するにあたり、寮で使用していた電化製品や日用品等大量の不要品が出てしまう。
- ・ 最初は留学生グループ(LINE)で、あげます、もらいます、の商談が細々と行われていたががちが明かず、何とかしてほしいとの要望に甘利幹事が応えてフリーマーケットを開催した。
- ・ 大量に余った物品は、秋期バザーに出品される。

4) 連絡室

- ・ 日本語広場

これまでお世話になってきたエイビックからの派遣講師に加え、支援の会会員や VOLAS 登録学生ボランティアにも必要に応じて担当を依頼する。前期には米山幹事が一教室を担当しており、後期には VOLAS 学生が担当する教室を準備中である。

・ 学会旅費補助

これまで小平幹事が書類関係や会計をまとめて来たが、今季からこれらの業務が甘利幹事に引き継がれることとなった。

5) 秋期バザー準備状況 (井上)

- ・ 開催予定日：9月29日(金)、9月30日(土) 各日 12:00~16:00
- ・ 新入学留学生オリエンテーションの際に、支援の会の紹介を行う中で、バザーの開催についてアナウンスする。
- ・ 会員からの寄贈品の他、帰国した留学生から譲り受けた日用品(鍋、フライパン等の調理器具、食器等)、電化製品(湯沸かしポット、アイロン、ドライヤー等)を販売予定。

(3) 組織 (阿部)

1) 新規の入会、会費、寄付

- ・ 4月新入生の保護者の入会が147名。(昨年度177名から若干減少した)
- ・ 寄付は27名で234,000円

(4) その他 (谷)

1) ISEP生等の閉講式

- ・ 7月14日開催
- ・ 支援の会からも幹事・協力者が多数参加し、留学生や大学職員との懇談の機会を得た。

2) バレーガラコンサート鑑賞準備状況

- ・ 9月25日開催予定
- ・ 支援の会顧問の梅田さんからの招待で、20名程度の留学生と数名の幹事・協力者が鑑賞予定。
- ・ 正規事業としてではなく、会有志の協力活動として取り組む。

2. 審議事項

(1) 後期事業実施案

1) 後期入学留学生オリエンテーション (谷・甘利)

- ・ 9月28日(ZOOM)、29日(対面)、10月2日(ZOOM)開催予定
- ・ 甘利幹事が担当する。

2) 調布航空宇宙センター見学 (山根) -資料②参照-

- ・ 10月下旬開催予定
- ・ 担当：谷、小平、小松

3) 文楽鑑賞教室 (山根) -資料③参照-

- ・ 12月8日
- ・ 60人分を仮予約済み
- ・ 丸井系商業ビル内の会場で19:30終了なので、館内フードコートを利用した食事会等も計画可能。
- ・ 例年12月初旬の金曜日に開催されている日本文化体験及び国際交流の夕べとの日程重複を避けるため、留学生課に相談し、上記行事を文楽鑑賞の翌週12月15日(金)に開催するようしてもらった。

4) 大相撲初場所観戦 (山根) -資料④参照-

- ・ 1月28日の千秋楽(第二候補は1月26日)を団体予約して観戦しようという試み

- ・会の発足数年後から恒例化したが、15年前に歌舞伎教室に置き換えられた経緯がある。だが、留学生に日本の国技を体験させるため、試験的に復活させてはどうかという提案があった。
- ・他の行事に比べて費用がかさむこと、スポーツ観戦を文化体験と捉えにくい等の要素も指摘された。
- ・今年度は後半も既に多くのイベントが計画されているため見送り、来年度の事業計画時に改めて検討する事となった。

5) 外語際バザー (井上)

- ・開催日: 大学祭開催期間中、11月23(木・祝日)25(土)26(日)の3日間の開店を予定している。
- ・会場: 研究講義棟2階(階段教室)
- ・現時点で一般会員に物品提供をお願いする予定はないが、秋季バザー後の在庫状況をみて、場合によっては商品の補充等を検討する。

(2) 事業、活動のオンライン化

1) 会報オンライン配布方式の導入について (谷・山根)

- ・一部の会員から、会報を紙ベースではなく、オンラインで配布してほしいという要望があった。
- ・紙かオンラインかを選択できるようにして会員の希望を調査し、来年2月号から希望に応じた方式で配布する。
- ・オンライン配布者に対しては、紙ベースの会報は送付しない。
- ・オンライン配布の方法については、今後担当者間で検討する。

2) 会のメールアドレスの独自ドメイン (谷)

- ・会から一斉送信したメールが迷惑メールとして処理され、閲覧されないケースが2割ほどある。
- ・この対策として、今後は会のメールアドレスをホームページと共通の独自ドメイン (tufsissa.com) に変更する。

(3) 会報74号について (山根) -資料⑤参照-

内容、構成、原稿依頼の段取りについて確認した。

(4) その他

1) 目的希望つき寄付金の処理について(再検討)

- ・昨年12月、ウクライナ留学生支援を願う会員から高額寄付金が寄せられた。在籍ウクライナ学生は特段の支援を要する状態ではないので、会の目的である留学生全体への支援活動に活用することを了承していただいて受領し、基金のような特別処理はしなかった。
- ・ところが最近になり、ウクライナ学生の生活困難に関する認識が不十分であったことが指摘されたので、それを受けて意見交換を行った。

2) 週末交流会への会としての支援のありかた (谷・甘利)

- ・現時点では交流会の運営は主に甘利幹事が行なっている。
- ・来年度4月からは学生有志に引き継がれる可能性があるため、新しい担当者から要望があれば、協力できるよう主に費用の支援について、検討する。

3) 事業参加者構成(留学生、日本人学生、幹事、会員)のありかた

- ・集団形式で実施する事業(旅行、芸術鑑賞等)に関して、その事業の目的、実施形態に応じた適切な参加者構成をその都度検討し、決定する。
- ・また会の活動への一般会員の参加、協力を促進する一助として、現在の引率者枠とは別にゲスト的な「会員枠」を設けることを検討する。

今後の幹事会は、10月22日(日)、11月19日(日)

佐久間 記